大野城市議会議員

みゆきで元気！

松田みゆき

ママさん議員活動報告

第19号
2015年10月発行

＜松田みゆき事務所＞
〒816-0983　大野城市
月の浦 5-11-15
TEL　：092-577-0884
FAX　：092-577-0884
メール　：miyuki_tukinoura@yahoo.co.jp

【裏面もあります！】
■安全保障法制の撤回を求める意見書不採択
■総務企画委員会視察報告

実態把握とニーズに応じた支援の実施を！

一般質問「生活困窮者自立支援について」問う
必須事業と同様に任意事業の実施を

本年4月から施行された生活困窮者自立支援法は、生活保護受給者や生活困窮のリスクが高い層の増加を踏まえ、生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るとともに、生活保護から脱却した人が再び生活保護に頼ることのないようにすることを目的に策定されました。

9月定例会～本会議場にて一般質問を行いました=9月16日

今日、疾病・障がい・失業・非正規化・貧困など多様で複合的な課題を抱える課題が急増する中、任意事業を実施する自治体は家計相談事業や就労準備支援事業は30％、学習支援については36％程度に止まっています。

大野城市においても任意事業が未実施の為、今後について質問したところ、地域の実情に応じた任意事業の取り組みを28年度以降に検討する回答がありました。今後も動向を注視していきます。

内閣府関係調査では引きこもり状態にある人は69・6万人と試算されています。引きこもりなど課題を抱える若年層もこの生活困窮者支援法の対象です。この新制度の活用をしながら引きこもりの方の居場所づくりと生活支援、その後の就労支援までを含めた一体的な支援の方策の検討を求めました。

□居住支援協議会の設立を

福岡市が2012年に実施した調査では、不動産事業者のうち77・4％が保証人がいなければ高齢者の入居を断るという回答がでており、入居を希望して実際に入居できたのは5％でした。

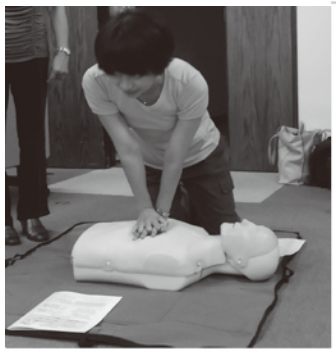
福岡市は家を借りる際に保証人が確保できない高齢者の支援を社会福祉協議会が入居相談支援プランを提案し、入居後は民間事業者やNPOが見守りや死後事務など生活支援を行う協力体制ができています。

福岡市方式での居住支援協議会の設立と、その際に実態調査の実施を求めました。

議員全員で救命救急講習受講！

9月定例会最終日、全員協議室にて救命救急講習を受講しました。心肺蘇生の手順やAED（自動体外式除細動器）使用の手順、異物除去法など座学と実技を各班に分かれて行いました。

119番通報から救急車が到着するまでに全国平均で約8・5分かかる為、心肺蘇生やAEDなどの一次救命措置が救命の可能性につながります。大野城市議会では定期的に救命救急講習を受講しています。



救命救急講習受講＝9月25日

裏面につづきます

松田みゆきの活動を発信しています！

松田みゆき　で　検索

ブログ（政治活動日記）　http://blog.livedoor.jp/miyuki_tukinoura/
公式ホームページ　http://miyukimatsuda.web.fc.com/
facebook　http://www.facebook.com/miyuki.matuda.7
Twitter　アカウント→ @MiyukiMatuda

安全保障法制の撤回を求める意見書不採択

9月議会意見書3案中2案採択される

9月定例会最終日、「少人数学級の推進と教育予算の拡充を求める意見書」「平和安全法制の成立後において国民に対し丁寧な説明を求める意見書」「憲法に違反する新安全保障法制の撤回を求める意見書」の3案が提出されました。

福祉文教委員会で少人数学級の推進と教育予算の拡充に関する請願の紹介議員として請願者同席の上、提案理由の趣旨説明を行いました。

私は、平和安全法制の成立後において国民に対し丁寧な説明を求める意見書に対して、平和憲法の根幹をなす憲法9条の解釈を根本的に変え、歴代内閣が一貫してできないとしてきた海外での武力行使を可能にすることに国民が反対しており、法案そのものに反対であると反対討論を行いました。「憲法に違反する新安全保障法制の撤回を求める意見書」は不採択、他2案は採択されました。

民主党福岡県連主催の街頭活動に参加＝９月5日JR博多駅博多口にて

9月定例議会報告

2億3092万円を増額する補正予算、平成26年度の決算認定など議決しました。補正予算の主な内容は、待機児童対策として0歳から2歳までを対象とした小規模保育施設の施設設備補助金（2施設分）、留守家庭児童保育所の対象を現在の小学3年生以下から6年生までに拡大する条例の改定と予算措置、空調設備整備工事費用（平野中学校・平野小学校）、中学校ランチ給食サービス保護者負担軽減措置などです。

総務企画委員会視察報告

まちづくりに関する先進事例として四国の3市（松山市・観音寺市・高松市）に視察しました。

「がんばる商店街７７選」※1に選ばれた松山市商工会議所の得する街のゼミナールについての取り組み状況についての説明を受け、実際に商店街を歩きました。吊りポスターやストリートビジョン等でまちゼミの告知をされています。

「がんばる商店街30選」※2に選ばれた観音寺商店街では既存店舗内にあるデットスペースに出店できるスペースを設けた「ショップインショップ」プロジェクトを実施。新規顧客開拓につながっています。

高松南部3商店街では商店街の各店舗の２代目、３代目が中心となり親子連れを商店街に取り戻すことを目的に「かえっこ商店街」等親子で楽しめるづくりを進められています。

現場で学んだことを大野城市でも活かせるよう調査研究をしてまいります。

香川県観音寺市商店街視察＝活動拠点事務所前

ショップ　イン　ショップの様子

※1「がんばる商店街７７選」
※2「がんばる商店街３０選」とは？
経済産業省中小企業庁は地域の特性・ニーズを把握し工夫を凝らした取組みにより、地域コミュニティの担い手として商店街の活性化や地域の発展に貢献している商店街の取り組み事例を選定しています。

取り組み事例の情報発信を通じてさらに多くの商店街において地域の活性化を期待されています。

～松田みゆきプロフィール～

1976年5月30日春日市生まれ
1995年 福岡県立春日高等学校卒業
1998年 中村学園短期大学
　　食物栄養科　卒業
2011年 大野城市議会議員　初当選
　　福祉文教委員会（～13年）
　　住居表示審議会（～13年）
2013年 都市環境委員会（～15年）
　　広報委員会（～15年）
2015年 大野城市議会議員　2期目当選
　　総務企画委員会副委員長
　　予算委員会委員
　　土地開発公社理事
　　議員厚生会会計
　　会派改革フォーラム経理責任者
　　春日高校同窓会副会長

みゆきで元気!